

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 29日

事業所名 運動療育スクールjump 宇部校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用定員を厳守しています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		個別指導が可能なように人員を配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		フラットな環境にしています。また、視覚支援を用いて、分かりやすい構造にしています。	運動療育がメインのため、現在車いすへの対応は行っていませんが、必要に応じて対策していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		事業所内外の点検、清掃、消毒を毎日行っています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	○		学期ごとに事業所・個人目標を設定し、振り返りを行っています。	今後PDCAサイクルの社内研修を実施していきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート結果に基づいてスタッフ間で話し合い、支援に活かしています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所内に掲示、保護者へ配付、ホームページで公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在、第三者による外部評価を行っておりません。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月社内研修を行っています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者の要望や児童の課題について話し合い、個々に応じた計画書を作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシート及び運動機能指標に合わせ、評価を行っています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援ガイドラインに示されている項目から、具体的な支援内容を設定しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画に沿った支援が行えるよう、支援に関わるスタッフ全員が確認しています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		支援前に必ず話し合いの時間を設けています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		年齢、個々の特性に配慮しながら、楽しくからだを動かせるようなメニューを立案しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	○		特性やニーズに合わせた運動に対する個別指導と社会性を育むメニューを組み合わせています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前に必ずミーティングを行い、その日の支援内容や役割を確認しています。	
18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		ミーティングの実施、記録作成等で情報共有しています。		

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 29日

事業所名 運動療育スクールjump 宇部校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々支援終了後に記録し、改善策を話し合っています。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1度、個別支援計画書を更新しています。	半年以内でも、必要に応じて見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者が出席しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		今後必要に応じて連携を検討していきます。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	現在、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子どもの支援を行っておりません。	今後必要となった場合に体制を整えていきます。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	現在、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子どもの支援を行っておりません。	今後必要となった場合に体制を整えていきます。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		相談支援員を通じて、必要に応じて見学、会議の開催などで情報共有を行っています。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		相談支援員を通じて、必要に応じて見学、会議の開催などで情報共有を行っています。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		会議や研修などに参加しています。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		ご利用時間が土曜日の50分間と限られているため、他所との交流は現在行っておりません。今後ご希望があれば検討していきます。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		ブロック会議や研修に参加しています。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		利用時や面談などで話し合い、現状や今後の支援について共有できるよう努めています。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		専門性を高められるように研修の機会を設けていきたいと思えます。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に必ず説明しています。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		児童発達支援ガイドラインに示されている項目から、具体的な支援内容を設定しています。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		受けた相談は記録し管理者に報告、その都度対応しています。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		レッスン参観日などを活用して保護者会を開催するなど、今後検討していきます。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 29日

事業所名 運動療育スクールjump 宇部校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		受けた相談や申入れを記録し管理者に報告、その都度対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		情報発信の方法等を含め、今後検討していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報ガイドラインに基づき管理しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		なるべく視覚的に伝えていきます。保護者とは電話やメールなど連絡の取りやすい方法で伝えています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを策定し、事業所内で誰でも閲覧できるようにしています。スタッフに関しては定期的に研修、訓練を行っています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年4回、平日に避難訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に確認、対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ミーティングの実施、記録作成等で情報共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に社内研修を行っています。また外部研修に参加し、伝達研修を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	現在対象となる利用児童はいません。どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかは、組織的に決定しています。	